

---

令和3年度全国学力・学習状況調査の調査結果  
の活用による指導改善に向けた説明会

---

中 学 校      国 語

# 本日の内容

- 1 はじめに
- 2 中学校国語の調査結果
- 3 課題が見られた問題
- 4 特に課題があると考えられること
- 5 指導改善のポイント
- 6 具体的な指導例
- 7 先生方をお願いしたいこと

「全国的な学力調査の今後の改善方策について（まとめ）」（平成29年3月）

- 全国学力・学習状況調査の調査問題については、新しい学習指導要領が求める育成を目指す資質・能力を踏まえ、それを教育委員会や学校に対して、具体的なメッセージとして示すものとなるよう検討を進める。

全国学力・学習状況調査では、学習指導要領のうち、中学校において第2学年までに十分に身に付け、活用できるようにしておくべきと考えられる内容が出題されている。

全国学力・学習状況調査の調査結果を分析し、把握した課題を授業改善につなげることにより、学習指導要領の内容をより確実に定着させることにつなげることができると考えられる。

**解答類型の正答以外の誤答に着目することで、生徒のつまずきの傾向を把握**

調査結果の分析

2 中学校国語の調査結果

課題の把握

3 課題が見られた問題

4 特に課題があると考えられること

指導改善のポイントの  
確認

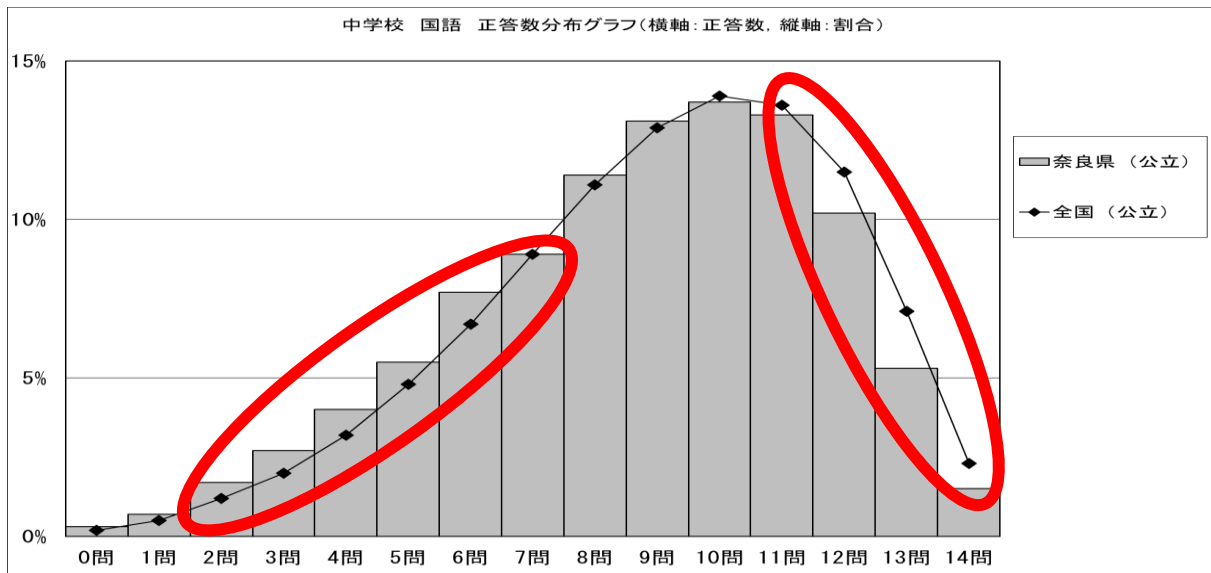
5 指導改善のポイント

具体的な指導例の紹介

6 具体的な指導例

## 2 中学校国語の調査結果

(中学校国語の生徒の正答数分布グラフ)



### 中学校国語における本県の傾向

#### ○正答数分布グラフより

- ・全国より上位層が少なく、下位層が多い。

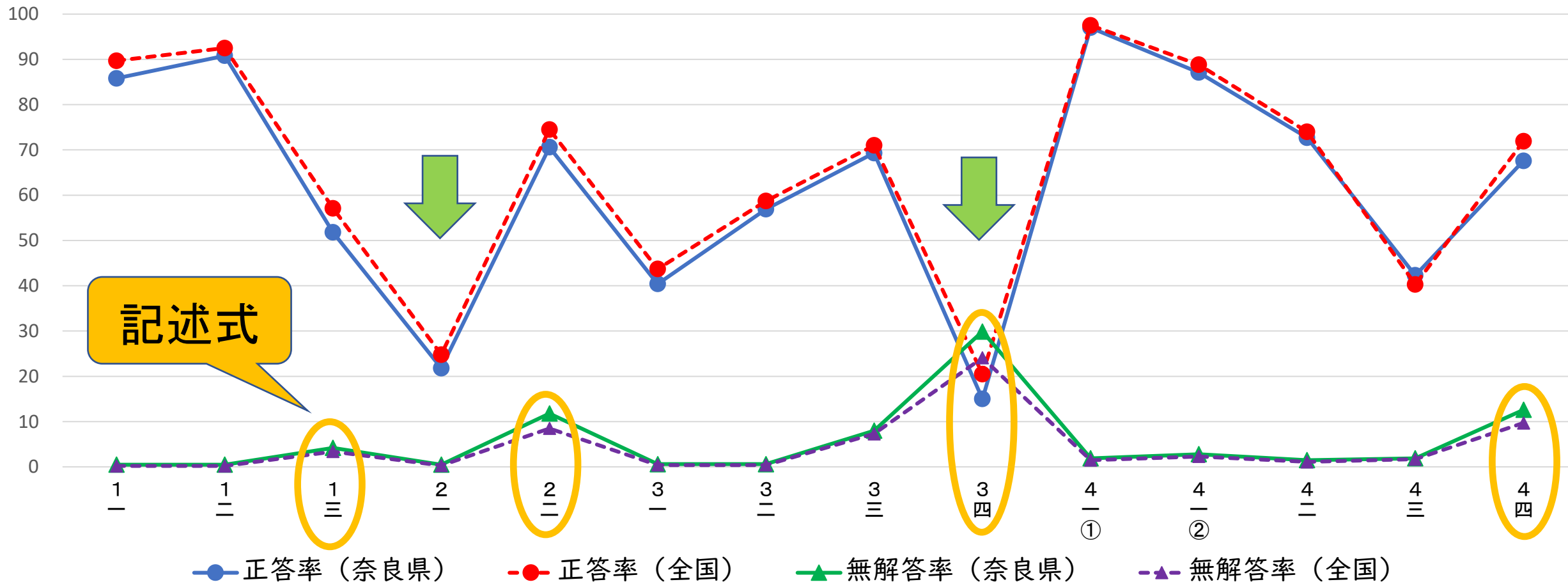
#### ○分類・区分別集計結果より

- ・全ての分類・区分で全国より低い傾向にあるが、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に関する問題の平均正答率が特に低い傾向にある。

(分類・区分別集計結果)

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		差
			奈良県 (公立)	全国 (公立)	
	全体	14	62	64.6	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	76.1	79.8	-3.7
	書くこと	3	53.3	57.1	-3.8
	読むこと	4	45.4	48.5	-3.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	4	74.8	75.1	-0.3
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	4	51.3	56.0	-4.7
	話す・聞く能力	3	76.1	79.8	-3.7
	書く能力	3	53.3	57.1	-3.8
	読む能力	4	45.4	48.5	-3.1
	言語についての知識・理解・技能	4	74.8	75.1	-0.3
問題形式	選択式	6	61.4	63.9	-2.5
	短答式	4	73.9	74.4	-0.5
	記述式	4	51.3	56.0	-4.7

## 中学校国語 平均正答率と無解答率



記述式の問題で、無解答率が高い傾向にある。

「書くこと」を問う2-と「読むこと」を問う3四の平均正答率が特に低い。

### 3 課題が見られた問題

## 書くこと

### 国語2 意見文を書く（言葉の使い方）

### 設問 一

問題の概要 意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する問題

(正答)

Ⓐの欄に4、Ⓑの欄に1と解答しているもの

	奈良県	全国	差
正答率(%)	21.8	24.8	-3.0
無解答率(%)	0.5	0.3	0.2

全ての問題の中で、二番目に正答率が低い。

【意見文の下書き】

① SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）などを活用し、インターネット上で文字を通じたやりとりをする機会が増えてきている。私は、SNSでやりとりをする際は、相手にどう伝わるかをよく考えながら言葉を選んで使うべきだと思う。SNSは少ない文字数で自分の思いや考えを表現することが多く、相手に伝えたいことが正しく伝わらないことがある。<sup>Ⓐ</sup>からだ

② 以前、私は次のような経験をした。SNSを使い、みんなで待ち合わせの相談をしていたときのことである。一人の友達に対して、待ち合わせの場所までの交通手段を尋ねるつもりで「何で来るの。」と書いたところ、「どうして行っただけなの。」という返信が来て、はっとさせられたことがあった。友達は、私の言葉を「なぜ来るのか。」という意味で捉えてしまったのだ。そのとき私が、友達に誤解を与えないように「集合場所までどうやって来るの。」と書いたら、このようなことは起こらなかったらどうだろうか。

一 山田さんは、「意見文の下書き」を読み返して、ⒶとⒷのように直しました。その意図として最も適切なものを、次の1から5までの中からそれぞれ一つ選びなさい。

- ① 段落で述べている意見の根拠となる具体例をより詳しく説明しようとした。
- ② 段落で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
- ③ 段落で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
- ④ 直前の文で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
- ⑤ 直後の文で述べている意見の根拠となる具体例をより詳しく説明しようとした。

### 3 課題が見られた問題

## 書くこと

### 国語2 意見文を書く（言葉の使い方）

#### 設問 一

#### 問題の概要 意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する問題

解答類型	奈良県	全国	差
Ⓐの欄に4、Ⓑの欄に1と解答しているもの（正答）	21.8	24.8	-3.0
Ⓐの欄に4と解答し、Ⓑの欄に1と解答していないもの	36.7	37.1	-0.4
Ⓑの欄に1と解答し、Ⓐの欄に4と解答していないもの	5.2	4.7	0.5
上記以外の解答	35.8	33.1	2.7
無解答	0.5	0.3	0.2

### Ⓐの欄に4と解答し、Ⓑの欄に1と解答していないもの

段落2が、段落1で述べられている「私は、SNSでやりとりをする際は、相手にどう伝わるかをよく考えながら言葉を選んで使うべきだと思う。」という意見の根拠となる具体例について説明したものであることを捉えることができていないものと考えられる。

【意見文の下書き】

① SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）などを活用し、インターネット上で文字を通じたやりとりをする機会が増えてきている。私は、SNSでやりとりをする際は、相手にどう伝わるかをよく考えながら言葉を選んで使うべきだと思う。SNSは少ない文字数で自分の思いや考えを表現することが多く、相手に伝えたいことが正しく伝わらないことがある。<sup>Ⓐ</sup>からだ。

② 以前、私は次のような経験をした。SNSを使い、みんなで待ち合わせの相談をしていたときのことである。一人の友達に対して、待ち合わせの場所までの交通手段を尋ねるつもりで「何で来るの。」と書いたところ、「どうして行っただけなの。」という返信が来て、はっとさせられたことがあった。友達は、私の言葉を「なぜ来るのか。」という意味で捉えてしまったのだ。そのとき私が、友達に誤解を与えないように「集合場所までどうやって来るの。」と書いたら、このようなことは起こらなかったらどう。

一 山田さんは、「意見文の下書き」を読み返して、ⒶとⒷのように直しました。その意図として最も適切なものを、次の1から5までの中からそれぞれ一つ選びなさい。

- ①段落で述べている意見の根拠となる具体例をより詳しく説明しようとした。
- ②段落で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
- ③段落で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
- ④直前の文で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
- ⑤直後の文で述べている意見の根拠となる具体例をより詳しく説明しようとした。



### 3 課題が見られた問題

## 書くこと

### 国語2 意見文を書く（言葉の使い方）

#### 設問 一

#### 問題の概要 意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する問題

解答類型	奈良県	全国	差
Ⓐの欄に4、Ⓑの欄に1と解答しているもの（正答）	21.8	24.8	-3.0
Ⓐの欄に4と解答し、Ⓑの欄に1と解答していないもの	36.7	37.1	-0.4
Ⓑの欄に1と解答し、Ⓐの欄に4と解答していないもの	5.2	4.7	0.5
上記以外の解答	35.8	33.1	2.7
無解答	0.5	0.3	0.2

#### Ⓑの欄に1と解答し、Ⓐの欄に4と解答していないもの

「SNSは少ない文字数で自分の思いや考えを表現することが多く、相手に伝えたいことが正しく伝わらないことがある。」という元の文のままで、直前の文で述べている意見の根拠であることは分かるが、そのことをより明確にするために「からだ」を加えていることが理解できていないものと考えられる。また、直前の文が、書き手の意見であることを捉えることができていないものとも考えられる。

【意見文の下書き】

① SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）などを活用し、インターネット上で文字を通じたやりとりをする機会が増えてきている。私は、SNSでやりとりをする際は、相手にどう伝わるかをよく考えながら言葉を選んで使うべきだと思う。SNSは少ない文字数で自分の思いや考えを表現することが多く、相手に伝えたいことが正しく伝わらないことがある。<sup>Ⓐ</sup>からだ

② 以前、私は次のような経験をした。SNSを使い、みんなで待ち合わせの相談をしていたときのことである。一人の友達に対して、待ち合わせの場所までの交通手段を尋ねるつもりで「何で来るの。」と書いたところ、「どうして行っただけなの。」という返信が来て、はっとさせられたことがあった。友達は、私の言葉を「なぜ来るのか。」という意味で捉えてしまったのだ。そのとき私が、友達に誤解を与えないように「おいねいに書いていれば、このようなことは起こらなかったらう。」

一 山田さんは、「意見文の下書き」を読み返して、ⒶとⒷのように直しました。その意図として最も適切なものを、次の1から5までの中からそれぞれ一つ選びなさい。

- ① 段落で述べている意見の根拠となる具体例をより詳しく説明しようとした。
- ② 段落で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
- ③ 段落で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
- ④ 直前の文で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
- ⑤ 直後の文で述べている意見の根拠となる具体例をより詳しく説明しようとした。

### 3 課題が見られた問題

## 読むこと

国語3 文学的な文章を読む（「吾輩は猫である」）

### 設問 四

#### 問題の概要

「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く問題

（正答の条件） 次の条件を満たして解答している。

- ① 【文章の一部】から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用して書いている。
- ② ①で引用した表現から、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしていることが分かるのかを書いている。
- ③ ②のような「吾輩」の接し方について、自分の考えを具体的に書いている。

（正答例）

「はなはだ御しやすい猫である」と評価しており、「吾輩」は「黒」の機嫌をとるような接し方をしていることが分かる。私は、このような「吾輩」の接し方はとても賢いと思う。

	奈良県	全国	差
正答率(%)	15.0	20.5	-5.5
無解答率(%)	29.9	24.1	5.8

全ての問題の中で、最も正答率が低く、無解答率が高い。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

条件1 【文章の一部】から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用した上で、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしていることが分かるのかを書くこと。

条件2 条件1のような「吾輩」の接し方について、あなたの考えを具体的に書くこと。

四 【紹介】に「〜」部「様々に評価する」とありますが、【文章の一部】では、「吾輩」は「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしていますか。また、あなたは、そのような「吾輩」の接し方をどう思いますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

### 3 課題が見られた問題

## 読むこと

国語3 文学的な文章を読む（「吾輩は猫である」）

### 設問 四

#### 問題の概要

「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く問題

（正答の条件） 次の条件を満たして解答している。

- ①【文章の一部】から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用して書いている。
- ②①で引用した表現から、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしていることが分かるのかを書いている。
- ③②のような「吾輩」の接し方について、自分の考えを具体的に書いている。

解答類型	奈良県	全国	差
条件①、②、③を満たして解答しているもの（正答）	15.0	20.5	-5.5
条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	1.5	2.1	-0.6
条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	0.2	0.3	-0.1
条件②、③を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	44.0	44.6	-0.6
上記以外の解答	9.4	8.5	0.9
無解答	29.9	24.1	5.8

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

条件1 【文章の一部】から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用した上で、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしていることが分かるのかを書くこと。

条件2 条件1のような「吾輩」の接し方について、あなたの考えを具体的に書くこと。

四 【紹介】に「……」の語部「様々に評価する」とありますが、【文章の一部】では、「吾輩」は「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしていますか。また、あなたは、そのような「吾輩」の接し方をどう思いますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。



書くこと

推敲する場面において、語句や文の使い方、段落相互の関係について考えることに課題がある。

読むこと

文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことに課題がある。

### 書くこと

読み手の立場に立ち、自分が書いた文章について捉え直し、分かりやすい文章に整える指導の工夫

読み手の立場に立ち、自分が書いた文章について捉え直し、分かりやすい文章に整える力を身に付けるために、第1学年では、表記や語句の用法、叙述の仕方などを、第2学年では、表現の効果などを、第3学年では、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめることについて指導する必要がある。その際、第1学年〔知識及び技能〕(1)エの「指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。」との関連を図ることや、第2学年〔知識及び技能〕(1)オの「話や文章の構成や展開について理解を深めること。」との関連を図ることなども有効である。

## 6 具体的な指導例

### 書くこと

読み手の立場に立ち、自分が書いた文章について捉え直し、分かりやすい文章に整える指導の工夫

#### 学習の流れ

学習の見直しをもつ。  
教師が提示した意見文を読み、よい点や改善点について気付いたことを、各自でノートに書く。  
書いた内容について、グループで交流する。  
(第1時)

前時で交流したことを踏まえて、各自で意見文を書く。  
書いた意見文について、書く際に工夫した点を、各自でノートにまとめる。  
(第2, 3時)

各自で意見文を推敲する。  
学習を振り返る。  
(第4時)

(言語活動) 読み手の立場に立って、文章を整える。

#### 授業前の教師の準備

②一についての生徒の解答の状況を「解答類型」(令和3年度 報告書 中学校 国語)に照らして把握する。特に、以下の「解答類型」の生徒の解答の状況に着目する。

#### ● 「解答類型2」, 「解答類型3」, 「解答類型99」の生徒

推敲する場面において、語句や文の使い方、段落相互の関係について考えることに課題がある。意見や根拠、具体例といった言葉と、文章の記述とを結び付けて捉えることができていない。

#### 第1時

#### 1 学習の見直しをもつ。



教師

「環境問題」をテーマに各自で意見文を書き、読み手の立場に立って、文章を整える学習をします。まずは、これから提示する意見文を読み、よい点や改善点について考えてみましょう。

#### 意見文のテーマの例

- 環境問題
- SNSの活用
- 働くことの意義

など

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイディア例

読み手の立場に立ち、自分が書いた文章について捉え直し、分かりやすい文章に整える指導の工夫

2 教師が提示した意見文を読み、よい点や改善点について気付いたことを、各自でノートに書く。

※ 必要に応じて、令和3年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語②-1を振り返ったり、本授業アイデア例P.6にある「推敲する際の観点の例」を事前に示したりすることも考えられる。



気付いたことを書く際には、印象や感想だけでなく、文章のどの部分のことなのかが分かるようにしましょう。また、書き手の意図や、読み手に与える効果についても考えましょう。

- ① 私たちは日々の生活の中で、多くのプラスチック製品を利用している。私は、その全てが本当に必要なものか、また、使い方を工夫することができないかについて、今一度立ち止まって考えてみるべきだと思う。プラスチック製品は現在、地球の自然環境に大きな影響を与えつつある。
- ② 先日、テレビの報道番組で「海洋プラスチックごみ」が深刻な環境問題となっていることを報じていた。「海洋プラスチックごみ」とは、不適正な処理によって海洋に流出する廃プラスチック類のことだ。このまま放置しておく、大変なことになると予想されている。
- ③ 確かに、プラスチックは軽く、加工しやすいなどの利点がある。しかし、自然環境ではほとんど分解されずに、地球上に残り続けることになるといふ報告がなされている。
- ④ これからの私たちにとって大切なことは、むやみにプラスチック製品の使用を制限してしまうのではなく、プラスチック製品を安易に使い捨てにしている場面はないか、また、ごみの処理の仕方に問題はないかなどについて考え、改善できることから取り組んでいくことだ。現在は、買い物をする際には必ずエコバックを利用したり、商品に示されているプラスチック製容器包装のマークを丁寧に見て、ごみの分別をしたりするようにしている。

〔教師が提示する意見文の例〕

①から④は、段落の番号。

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例



## 6 具体的な指導例

### 書くこと

#### 読み手の立場に立ち、自分が書いた文章について捉え直し、分かりやすい文章に整える指導の工夫

##### 3 2で書いた内容について、グループで交流する。



第①段落の最後の文に「からだ」を付けて、「プラスチック製品は現在、地球の自然環境に大きな影響を与えつつあるからだ。」とした方がよいと思います。そうすることで、直前の文で述べている「私は、その全てが本当に必要なものか、また、使い方を工夫することができないかについて、今一度立ち止まって考えてみるべきだと思う。」という意見の根拠であることがより明確になります。

第②段落には、第①段落で述べている意見の根拠となる具体例が書かれていますが、最後の「大変なことになる」という部分が分かりづらいと感じました。読み手にとっては、どう大変なことになるのかが書いてあった方が、書き手の意見に納得しやすいと思います。



書き手は、第③段落で「確かに、」という書き出しで、プラスチックのよい点について述べていますが、こうすることで、第④段落の最初の文で述べている意見により説得力が出ていると思います。

第④段落には、書き手自身が取り組んでいることが書かれていて、「改善できるところから取り組んでいくこと」が大切という意見に共感できました。私も、プラスチック製容器包装のマークやその他のマークに気を付けて、ごみを分別するところから始めたいと思います。



##### 第2時, 第3時

4 3で交流したことを踏まえて、「環境問題」をテーマに、各自で400～800字の意見文を書く。

5 4で書いた意見文について、書く際に工夫した点を、各自でノートにまとめる。

##### 第3時終了後の教師の分析

第3時終了後に、ノートの記述内容を分析する。  
授業前に把握した「解答類型2」、「解答類型3」や「解答類型99」に該当する生徒が、次の観点についてできているかどうかを見る。

● 表記や語句の用法、叙述の仕方、表現の効果などについて、どのような工夫をしたのかを具体的に書いている。

第3時終了後に不十分だった生徒については、第4時の推敲の様子を観察し、必要に応じて指導する。

令和3年度全国学力・学習  
状況調査の結果を踏まえた  
授業アイデア例

読み手の立場に立ち、自分が書いた文章について捉え直し、分かりやすい文章に整える指導の工夫

## 第4時

## 6 各自で意見文を推敲する。

## 推敲する際の観点の例



- ① 表記や語句の用法について  
文字や表記が正しいか、漢字と仮名の使い分け、語句の選び方や使い方が適切かなど。
- ② 叙述の仕方について  
文や段落の長さ、文や段落の役割、段落の順序、語順が適切かなど。
- ③ 表現の効果について  
説明や具体例、描写などの表現が、自分の考えを明確に伝えるために機能しているかなど。  
※ 指導に当たっては、例えば、第1学年では①、②、第2学年では①～③、第3学年では①～③に加えて「B書くこと」の他の指導事項に示された内容に着目して、目的や意図に応じた表現に整えることが考えられる。

## 7 学習を振り返る。

## 本單元における ICT 活用の例

例えば、ICT を以下の場面で活用することも考えられる。

- 教師が提示した意見文を用いて交流する場面。
  - 各自で意見文を書いて、推敲する場面。
- また、ICT を活用した「B書くこと」の学習については、『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」の第3編事例2も参考になる。

『指導と評価の一体化』のための  
学習評価に関する参考資料」  
P.50～P.57 参照



[https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326\\_mid\\_kokugo.pdf](https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_kokugo.pdf)



## 本授業アイデア例

## 活用のポイント！

- 以下の授業アイデア例と関連させて指導することも考えられる。
  - ・[平成28年度【中学校】授業アイデア例] P.3 「要望する文章を書こう」
  - ・[平成28年度【中学校】授業アイデア例] P.5～P.6 「係の活動への協力を呼びかけるちらしを作る」
  - ・[平成31年度（令和元年度）【中学校】授業アイデア例] P.7～P.8 「読み手を意識しながら、意見文を書く」
  - ・[令和2年度【中学校】活用の参考資料] P.22～P.29 「自分の考えが読み手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えるとともに、論理の展開を工夫して書くことができるようにする。」

令和3年度全国学力・学習  
状況調査の結果を踏まえた  
授業アイデア例

### 読 む こ と

#### 文章の内容を理解したり自分の考えを形成したりする指導の工夫

文章の内容を理解したり自分の考えを形成したりする力を身に付けるために、〔思考力、判断力、表現力等〕の「C読むこと」の学習過程を意識しながら、各指導事項について意図的・計画的に指導する必要がある。例えば、各学年の(2)イに示されているような、文学的な文章を読んで考えたことなどを記録したり伝え合ったりする言語活動を通して指導することが効果的である。また、各学年の〔知識及び技能〕(3)の「読書」に関する事項との関連を図り、生徒の日常の読書活動に結びつくように指導することも有効である。

### 読むこと

# 文章の内容を理解したり自分の考えを形成したりする指導の工夫

#### 教材例

- 「吾輩は猫である」(令和3年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語③)(TYPE S・Lの場合に使用)
- 教科書に掲載されている文学的な文章など(TYPE Lの場合に使用)

#### 第1時

#### 1 学習の見通しをもつ。



教師

「吾輩は猫である」は長く読み継がれている作品です。今回はこの作品を読み、叙述を根拠に自分の考えをもつ学習をします。まずは、この作品が、読んだ人たちにどのように受け止められているのかを見てみましょう。

#### 2 「吾輩は猫である」について、インターネット上にあるレビューを読み、作品がどのように受け止められているのかを知る。

#### 〔インターネット上のレビューの例〕

猫の視点から見た人間の姿を皮肉を交えながら、どこか滑稽に描いている作品。

時には批判的に、時にはユーモアを交えて話が進んでいるところが面白かった。

当時の社会やそれに影響を受ける人間たちを猫の視点で眺めた作品で、今読んでも共感できる点が多い。



たくさんのレビューがあり、現代でも多くの人に読まれていることが分かりました。私も作品全体を読みたいと思いました。

「滑稽」や「ユーモア」というコメントがありますが、作品の中のどの場面や描写からそう感じたのでしょうか。



令和3年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例

# 文章の内容を理解したり自分の考えを形成したりする指導の工夫

③ 令和3年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語③の【文章の一部】を読み、次の解答例について、根拠として考えられる叙述を各自でノートに書く。

〔課題が見られた解答例〕 ※ ここでは、解答類型4の典型的な解答例を示す。

「吾輩」は「黒」を少し見下して接している。このような接し方は相手に失礼だと思う。



皆さんの解答の中には、どこからそう感じたのかが分かりにくいものがありました。文章を読んで考えをもつ際には、具体的な叙述に基づいて考えることで、自分の考えが整理されたりより確かなものになったりします。例えば、この解答には「少し見下して接している」とありますが、どの叙述が根拠になると思いますか。

④ ③で書いたことをグループで交流する。



「元来黒は自慢をするだけにどこか足りないところがあって」という叙述から、「吾輩」が「黒」を見下していると考えられます。

私もそう思いました。他にも、「『へえ、なるほど』と、あいづちをうつ。」や「無学の黒」などという表現も「見下して接している」と考える根拠になるのではないのでしょうか。



「無学の黒」という部分は、確かにそうですね。しかし、「『へえ、なるほど』と、あいづちをうつ。」という「吾輩」の行動が、なぜ「黒」を見下していることになるのでしょうか。むしろ、「吾輩」は「黒」に共感していると受け止めるべきではないのでしょうか。

その部分だけを見ると共感しているとも言えますが、「『うまくやったね』と喝采してやる。」など、「吾輩」と「黒」の一連の会話と結び付けて考えると、「見下して接している」と解釈することもできます。



「吾輩」が「黒」を見下していることが分かる叙述は、一箇所だけとは限らないのですね。また、一つの叙述だけでなく、複数の叙述を結び付けて考えることも大切なのですね。

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例

## 文章の内容を理解したり自分の考えを形成したりする指導の工夫

## 第2時～第4時

- 5 第1時に読んだレビューを基にして「吾輩は猫である」の別の場面を各自で選んで読み、4の学習を踏まえて自分の考えをノートに書く。

※ ここでは、「吾輩は猫である」の最初の場面を取り上げた学習例を示している。生徒の実態に応じて、教師側で取り上げる場面を決めたり、文章の長さを工夫したりすることも考えられる。



別の場面を読む際にも、具体的な叙述に基づいて自分の考えをもつことが大切です。その上で、互いの考えを交流することで、作品の受け止め方がより豊かなものになります。

- 6 5で書いた内容をグループで交流し、互いにコメントを書く。

## 交流する際の観点の例

- 取り上げた叙述について、どのように理解したかが書かれているか。
- 具体的な叙述を基にした考えが書かれているか。
- 自分自身の考えと共通している点や異なっている点はどこか。

など



〔最初の場面〕  
吾輩は猫である。名前はまだない。どこで生まれたか、とんと見当がつかぬ。なんでも、薄暗いじめじめしたところでニャーニャー泣いていたことだけは記憶している。吾輩はここではじめて人間というものを見た。しかもあとで聞くと、それは書生という、人間中でいちばん賢い悪な種族であったそうさ。この書生というのは、ときどきわれわれをつかまえて煮て食うという話である。しかしその当時はなんとという考えもなかったから、べつだん恐ろしいとも思わなかった。ただ彼ののひらにのせられてスーと持ちあげられたとき、なんだかフワフワした感じがあつたばかりである。  
(中略)

吾輩の主人は、めったに吾輩と顔を合わせることはない。職業は教師だそうさ。学校から帰ると終日書齋にはいったがり、ほとんど出てくることがない。うちのものは大変な勉強家だと思っている。当人も勉強家であるかのごとく見せている。しかし実際は、うちのものがいうような勤勉家ではない。吾輩はときどき忍び足に彼の書齋をのぞいてみるが、彼はよく昼寝をしていることがある。ときどき、読みかけてある本の上によだれをたらしている。

(夏目漱石「吾輩は猫である」による。)

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例

## 文章の内容を理解したり自分の考えを形成したりする指導の工夫

## 〔Aさんのノートの例〕

〈自分の考え〉

レビューには、「猫の視点から見た人間の姿を皮肉を交えながら、どこか滑稽に描いている」とありましたが、「しかし実際は、うちのものがいうような勤勉家ではない。」や、「読みかけてある本の上によだれをたらしている」という叙述から、この場面では「吾輩」は「主人」のことを軽く見ていることが分かります。飼い主のことを尊敬していたら、こんなことは言わないはずです。この点は、全員で読んだ「吾輩」と「黒」のやりとりの場面での「黒」に対する接し方と似ている感じがしました。「吾輩」が現代にいたら、私たちのことをどう感じるのかが気になります。

〈Bさんからのコメント〉

『主人』のことを軽く見ている」とAさんは書いていますが、この場面には「吾輩はときどき忍び足に彼の書齋をのぞいてみる」という叙述もあり、「主人」のことが嫌いだったらそのようなことはしないので、愛着を感じていると受け止めることもできます。

〈Cさんからのコメント〉

『黒』に対する接し方と似ている」とありますが、どのように「似ている」のかをもう少し具体的に書いた方がよいと思います。また、「吾輩」の生きていた時代とは異なる現代の中学生を、「吾輩」がどう評価するかについては、私も気になります。

## 7 学習を振り返る。



## 本授業アイデア例

## 活用のポイント！

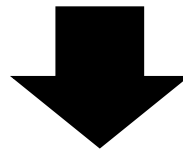
- 学習の流れの⑤、⑥については、ワープロソフトのコメント機能を活用して、互いに交流する活動も考えられる。
- 本授業アイデア例での学習を活用し、「吾輩は猫である」や他の文学的な文章についてのレビューを各自で書くなどの学習活動も考えられる。

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例

○生徒一人一人の学力・学習状況に応じた学習指導の改善・充実を行う。

## 国語科における授業づくりについてのチェックポイント例

- 国語科の年間指導計画について、どの時期にどの指導事項を指導するのかを意識して作成している。
- 全国・学力学習状況調査の結果等を基に、どの指導事項の定着に問題があるのかを明らかにし、指導計画等に反映させている。
- 評価規準を設定している。
- 評価方法が明らかであり、効率的に評価するための工夫が考えられている。
- それぞれの評価規準について、「努力を要する」状況の生徒への手立てが考えられている。



生徒自身が学習を通して身に付ける力を理解し、その力を付けるための方法と見通しをもちしながら、主体的に学ぶ授業に。